

J S A N e w s

公益社団法人
日本脳卒中協会
JSA The Japan Stroke Association

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-15共同ビル4F ●TEL:06-6629-7378 ●FAX:06-6629-7377 ●ホームページ: <http://jsa-web.org> ●Eメール: info@jsa-web.org

巻頭言

超高齢社会と言語聴覚士

一般社団法人日本言語聴覚士協会 会長 深浦 順一



現在、わが国では地域包括ケアシステムの構築が進められており、この中でリハビリテーション専門職は介護予防のための「地域リハビリテーション活動支援事業」に貢献することが求められています。この事業は地域ケア会議への参加、通所介護や訪問介護を実施している介護職員等への助言の強化、住民運営の通いの場創設と支援などを行うものです。特に「住民運営の通いの場の創設」は介護予防に大きく貢献することが示されています。また、「地域ケア

会議」は地域包括ケアシステムにおける重要なツールとして位置づけられています。会議では、地域における困難事例の検討を通して多職種協働によるケアマネジメント支援、地域のネットワーク構築、地域課題の把握と地域づくりを行うもので、言語聴覚士も各地で参加を進めています。有意義な議論に貢献するためには、言語聴覚士自身の知識と経験を深めなければなりません。そこで、理学療法士協会、作業療法士協会と協力して、人材育成事業を進めています。

一方、75歳以上の後期高齢者の急増は、言語聴覚療法の対象者の様相を変化させています。失語症は高齢者では改善に長期間要すると同時に、認知症の合併も多くなります。また、認知症がある方では、嚥下機能がそれほど悪くなくとも経口摂取が困難となる場合があります。つまり、加齢によって感覚、運動機能、認知機能、その他の機能の低下が複合して生じている状態の高齢者に脳血管疾患等による後遺症が加わると、その症状が複雑化し、介入効果も様々です。今後、言語聴覚士は加齢という要因を考慮してアプローチすることが重要になると考えています。